



研修活動
完全燃焼!!



新たな学び・ 取り組みがスタート

学長 松 重 和 美

漸く、寒さ厳しい冬を越え、暖かく穏やかな春を迎えました。春は卒業、入学の季節でもあります。四国大学でも、これまで大学で学び育った多くの学生さんがいよいよ社会に巣立つ一方、多くの新入生が“専門的な知識とともに社会に生き・貢献できる力”を習得するため入学してきます。まさに、この時期は季節とともに多くの人々の門出、新たな学びのスタートが交差する時期でもあります。

四国大学はこの数年間大学改革・教育改革を進めて来ました。「全人的自立」の実現、より魅力ある大学を目指して全教職員で取り組み、その成果も結実し始めて来ました。例えば、最近の大学ランキング：文科省支援事業採択数で分かる“グローバル時代を先導する改革に積極的な大学はここ”（サンデー毎日、平成28年新年号）では、本学は地（知）の拠点（COC）事業や私大改革総合支援事業（教育の質的転換・地域発展・産業界連携）

など五つの事業に採択された結果、中四国トップの12位（グループ）に位置づけられています。改革は企画し実施すれば終わりではなく、社会の変動や大学内外の新たな環境変化にも対応して常に新たな視点・挑戦心で取り組むものであり、本学の一層の発展を目指し、今後は研究分野の横断・統合的展開やグローバルな観点も加え、全学で積極的に進めて行きたいと思っています。

さて、平成27年度には幾つか新しい動きや施設（しらすぎ球技場）や建物（芸術館）の新設があり、今春からは認定こども園が開設されます。特にスポーツ分野では、女子サッカー部“Egrets”が最低部員数11名ながら創部1年目で早くも四国1位となり、皇后杯そしてインカレへの出場を果たしました。陸上、弓道などでも全国的な成績を挙げました。年初には女子のラグビーやソフトテニスを強化対象に追加するとともに、オリンピック出場を目指すトップアスリートを地域全体で育成する“STAR：Shikoku university Top Athlete Retiring”プロジェクトなどを推進していきたいと思っています。

最後になりますが、平成28年度からも新たな観点で“面倒見の良い、先進的地域貢献の四国大学”を目指し、様々な活動に積極的に取り組んでいきたいと考えています。今後とも、ご父母の皆様、学生・同窓生、そして教職員の方々のご支援・ご鞭撻の程を宜しくお願い致します。

平成27年度

父母会だより



父母会会長あいさつ

父母会会長 中川 恭子

父母会役員を代表してご挨拶申し上げます。皆様におかれましては、新春を健やかに迎えられたことと、お慶び申し上げます。

日頃は、本学父母会の振興にご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。

今年は申年。うるう年。大変な世の中ではありますが、日本の昔話に出てくるさるのように、ユーモアを解する心の余裕と優しさを持って過ごしたいものです。

寒さの中にも、椿やサザンカが美しく咲き、私たちの目を楽しませてくれます。しかし、そんな自然の美しさにも目もくれず、スマートフォンから目をそらさない若者たち、一部の式場ではありますが、荒れる成人式。今、心豊かに生きるということが必要な時が来ているのではないのでしょうか。そして、一人一人の個人が、かけがえのない人間として大切にされる、そんな世の中であってほしいと願います。

今年も皆様に素晴らしい出会いがありますように。人との出会い、場所との出会い、一冊の本との出会い…。学生の皆さんにも、それぞれの思いを胸に、学生生活を送っていただきたいと思います。

本学教職員、関係者の皆様には、今後共ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

父母会第1回評議員会及び総会開催



6月14日(日)10時30分から本学本館大会議室において、佐野雅史会長はじめ役員・評議員66名、大学側からは松重和美学長・佐藤一郎理事長はじめ関係者16名が出席し、第1回評議員会を開催しました。佐野会長の挨拶の後、松重学長が挨拶を述べ、続いて予定された議事について審議しました。

13時からは共通講義棟において、保護者約250名出席のもと総会を開催しました。役員改選において、会長に中川恭子監事が就任され、同様に副会長3名・監事1名が交代し、新体制が整いました。退任されました5名の旧役員を代表して、長年ご尽力いただきました佐野旧会長に、松重学長より感謝状と記念品が手渡されました。その後、中川新会長に議事進行が変わり、予定された議案は満場一致で全て承認され、最後に大学側から、大学現状報告を行い、総会は終了しました。

総会終了後は、各学科・専攻ごとに保護者と教員による個別面談が行われました。

地区別父母懇談会開催

地区別父母懇談会は6月28日の沖縄県地区を皮切りに、香川県・中国地区(広島県)・愛媛県・高知県で開催しました。各会場多数の保護者の出席をいただきました。

各地区担当の父母会副会長の挨拶に始まり、大学側より松重和美学長から「大学の現状報告について」、小笠泰史学生支援担当部長から「学生生活について」、榎本敬二就職キャリア支援部長から「就職状況について」説明を行いました。その後、学部・学科別懇談、午後からは保護者の方1人1人に学科・専攻別個別面談が行われ、学生のキャンパスライフや成績、進路についての思いや願いを熱心に相談されていました。待ち時間は、保護者の方同士がお話をする場面も見受けられました。多くの保護者の方から、「各学科・専攻の先生方と情報収集・交換ができ、有意義な会でした」という好評もいただきました。

来年度も開催を予定しております。今年度は都合の合わなかった方も、是非ご参加ください。開催日程は、はがき・HP等でお知らせいたします。

H27年度地区別父母懇談会開催一覧	
沖縄県地区父母懇談会	6月28日(日)
香川県地区父母懇談会	8月29日(土)
中国地区父母懇談会	8月30日(日)
愛媛県地区父母懇談会	9月5日(土)
高知県地区父母懇談会	9月6日(日)

父母会第2回評議員会開催

11月14日(土)10時30分から本学本館大会議室において、中川恭子会長はじめ役員・評議員59名、大学側から松重和美学長・佐藤一郎理事長はじめ関係者16名出席のもと、第2回評議員会を開催しました。中川会長の挨拶の後、松重学長が挨拶を述べ、議事に入りました。

議事では、中川会長進行のもと、出越雅子学生支援課長より「父母会の活動状況や大学の支援事業について」説明を述べました。無事議事は終了し、続いて松重学長より「本学の新しい取り組みについて」、小笠泰史学生支援担当部長より、「より充実したキャンパスライフに向けて」、榎本敬二就職キャリア支援部長より「これからの就職状況について」説明を行いました。保護者の方からも質問・ご意見をいただき、充実した評議員会となりました。

また、当日は恒例の芳藍祭期間中でもあり、参加された方々も学生の屋内展示・模擬店・演技発表を観覧されました。



第55回 芳 藍 祭

和気藍々 ～ Let's 55 芳藍祭～



委員長あいさつ

第55回 芳藍祭運営委員長

近 藤 真 衣

芳藍祭は今年度で55回を迎えました。3日間悪天候に見舞われ、1日目の深夜に暴風雨の影響で2日目の模擬店を出店中止にする事も考えていましたが、早朝にもかかわらず多くの学生の皆さんが一丸となって復旧作業に参加してくれたので、当初の予定より多少遅れをとりましたが、多くのお客様に模擬店やその他の企画を楽しん

でいただけたと思います。

今年度は学生が何よりも心待ちにしていた体育館でのコンサートを開催することができました。2年ぶりということもあり、学祭前から学内は賑やかな雰囲気になっていました。その他、昨年からの人気企画となっている企画の学祭 de おどってみた、伝統あるカラオケ大会も大盛況のうちに終了し、学祭後も多数の「楽しかった」というお言葉を頂くことができ、この上ない喜びを感じています。

最後になりましたが芳藍祭を開催するにあたりご指導いただきました諸先生方をはじめ、各学科・クラブ・同好会の関係者の皆様方、今まで芳藍祭を築いてくださった先輩方、そして地域の皆様に厚く御礼申し上げます。



秋の深まりとともに、キャンパスが最もにぎわう伝統行事、第55回四国大学芳藍祭が11月12日（金）の前夜祭、企画イベント（学祭 de おどってみた・カラオケ大会）予選にはじまり、13日（金）～15日（日）の模擬店、演技発表、企画イベント本選、16日（月）の表彰式、閉会式の日程で各部門に分かれて開催されました。

学生の皆さんが、この3日間のために半年以上も前から準備や練習に取り組んできた成果を発揮し、熱の入った演技や展示で大学祭を盛り上げました。

また、14日（土）には、体育館で「ソナーポケット」のライブコンサートが開催され、多くの方がご来場くださり大盛況の公演となりました。

今年度の芳藍祭はいいにくの悪天候に加え、例年に比べ少人数での運営であったにもかかわらず、努力でカバーした現役運営委員の頑張り、また、運営委員OBの協力等、陰で支えてくださった皆さんにも感謝したいと思います。ありがとうございました。

総合 同窓会長賞・沖縄県人会

模擬店発表 ハッスル賞

管栄3年 本村 衛由

総合部門・同窓会長賞というとても名誉な賞を頂き本当にうれしく思います。このような賞を頂けたのは、大きなハプニングに素早く対処して下さった運営委員、日ごろから応援して下さる方々のおかげであると思います。これらが私たちの力となり、演技、模擬店発表に現れたのではないかと思います。名誉とともに良き思い出を頂きありがとうございました。



展示発表 最優秀賞 看護学科2年

看護2年 出口 朝香

今年度は、がん啓発に関連してAWAがんプロジェクトをメインに展示と体験コーナーを実施しました。展示は先生方の指導をいただいて咽頭がんと肺がんのポスターを作製しました。体験コーナーではスモーカーライザーなどを用いて、実際に喫煙のリスクについて体験していただきました。対応が遅れるほどの参加者がありました。

委員全員が頑張った結果、展示部門で最優秀賞をいただくことができました。この経験を次年度に生かしたいと思います。ありがとうございました。



第55回芳藍祭表彰一覧

第55回芳藍祭

テーマ・サブテーマ考案

看護学部 看護学科2年

牧 綾 香

第55回芳藍祭

表紙・ポスターデザイン考案

生活科学部 児童学科1年

今 井 彩 香



第55回芳藍祭奨励賞一覧

部門	賞	団体名	内容
展示発表	最優秀賞	看護学科2年	がん検診上り下り外 難カシ外
	優秀賞	四国大学同窓会	パネル写真展示
	努力賞	管理栄養士養成課程3年	藍のプロジェクト
	感動賞	短大食物栄養専攻2年	食 栄 展 示
	創作賞	手話点字クラブ	手話に関する展示
演技発表	最優秀賞	三大踊り	エイサー(沖縄)・よさこい(高知)・阿波踊り(徳島)
	優秀賞	ジャグリングクラブ	ジャグリング
	努力賞	音楽科1・2年	演 奏
	感動賞	ダンスクラブ	ダ ン ス
	創作賞	軽音楽クラブ	演 奏
模擬店発表		短大食物栄養専攻1年	し こ ぼ ん パ ン
	ハッスル賞	管理栄養士養成課程3年	パウンドケーキ
		沖縄県人会	沖縄料理
総合	同窓会長賞	沖縄県人会	沖縄料理

展示発表 優秀賞 四国大学同窓会



展示発表 努力賞 管理栄養士養成課程3年



展示発表 感動賞 短大食物栄養専攻2年



展示発表 創作賞 手話点字クラブ



演技発表 最優秀賞 三大踊り

よさこい踊りクラブ 書道3年 赤瀬美乃里

今年も、三大踊りとして芳藍祭演技発表最優秀賞を頂けて本当に嬉しく思っています。今年は一桁の部員数から始まり不安でいっぱいでしたが、多くの方に支えてもらい、ここまで来ることが出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。練習ではなかなか人数が集まらず、毎年のように十分な練習は難しかったのですが、2日間、14人全員が笑顔で踊りきることが出来ました。



沖縄県人会 管栄3年 本村 衛由

この度は素晴らしい賞を頂きありがとうございます。芳藍祭までの練習には、多くの苦難がありましたが、沖縄人らしい明るさで乗り越えました。学祭は、「私たちが楽しみ芳藍祭を盛り上げる」をモットーに演技をすることができました。今回頂いた賞は、それができたことが形となり頂けたものだと感じます。これからも、見てくださる方が楽しめる演技を目指して頑張ります。



阿波踊りクラブ 管栄3年 谷 綾乃

第55回芳藍祭において、演技発表最優秀賞を受賞できたことを嬉しく思っています。練習では辛いこともありましたが、先輩や後輩に助けられて乗り越えることができました。そして、本番ではメンバー一人一人が輝き、最高の演技ができたと思っています。最後になりましたが、阿波踊りクラブを応援してくださった皆様に心から感謝しています。



演技発表 優秀賞 ジャグリングクラブ



演技発表 努力賞 音楽科1・2年



演技発表 感動賞 ダンスクラブ



演技発表 創作賞 軽音楽クラブ



短期大学部食物栄養専攻1年 しこぼんパン

模擬店発表
ハッスル賞



管理栄養士養成課程3年 パウンドケーキ

模擬店発表
ハッスル賞



学園 de 踊ってみた

優勝 IN☆DOOR 児童2年 黒田 寧々

初めての出場ということで緊張は…せず(笑)芳藍祭を楽しもう、自分たちの踊りでお客さんを笑わそうという目標を立て、夏休みから一生懸命練習してきました。個性の強いメンバーのおかげで練習も本番も、本当に楽しく、パフォーマンスすることができました。応援してくれたみなさんありがとうございます。



カラオケ大会

優勝 TZ あられちゃん 児童4年 湯浅 紋

去年ゼミの先輩達が「踊ってみた」で優勝したので、私たちも伝統を受け継いで、ゼミ生6人全員で最後の芳藍祭に出場して優勝したい!!という意気込みで出場しました。実習や卒業公演で忙しい中、練習時間を見つけて短期集中して頑張りました。見てくれた方々の投票で優勝することができて、すごく嬉しかったです。今回ゼミ生全員で優勝したことを忘れず、それぞれの道で活躍していきたいです。



スポーツ分野 各クラブの活躍

● 女子サッカークラブ ●

第24回全日本大学・第37回皇后杯サッカー選手権大会 四国大学イーグレッツが四国代表として出場

平成27年4月に創部しました女子サッカークラブ（四国大学イーグレッツ）が、当初の目標であった全日本大学女子サッカー選手権大会（インカレ）出場を1年目で果たすという快挙を成し遂げました。全国大会では強豪相手に健闘するも残念ながら敗退しましたが、この全国大会での経験を活かし、来季も益々の躍進が期待されます。今年度の成績は下表の通りです。



大会名	開催日	戦績	結果
第26回徳島県女子サッカーリーグ(1部)	4/19~11/22	6勝1分	優勝
第66回四国地区大学総合体育大会	6/27~28	決勝 1-2 VS 環太平洋大学短期大学部	準優勝
第29回徳島県女子サッカー選手権大会 第37回皇后杯前日本女子サッカー選手権徳島県大会	9/5~6	決勝 10-0 VS 鳴門ポラリス	優勝
第24回全日本大学女子サッカー選手権大会 四国大会	9/19~10/31	4勝	優勝
第37回皇后杯女子サッカー選手権大会四国予選会兼 2015 四国女子サッカーリーグ	10/3~11	3勝	優勝
第37回皇后杯女子サッカー選手権大会	11/8	1回戦 0-5 VS 大和シルフィード	1回戦敗退
第24回全日本大学女子サッカー選手権大会	12/26	1回戦 0-4 VS 武庫川女子大学	1回戦敗退

● 弓道クラブ ●

第70回国民体育大会弓道競技会

辻紀子選手（児童3年）が近的競技で準優勝

平成27年9月27日~30日に和歌山県田辺市立弓道場にて第70回国民体育大会弓道競技会が行われ、弓道クラブの辻紀子選手（児童3年）が成年女子の徳島県代表として参加しました。



遠的・近的競技とも予選を通過し、遠的競技では第7位に入賞し、近的競技では見事準優勝に輝き、徳島県の弓道競技における成績は皇后杯総合で第6位となりました。また、平成28年1月17日に行われた、三十三間堂大の全国大会の成人女子の部にて高橋選手（看護2年）が5位に入賞しました。

● 陸上競技クラブ ●

第38回中国四国学生陸上競技選手権大会

村尾茉優選手（生活2年）が二冠達成

平成27年10月16~18日に徳島県鳴門大塚スポーツパークポカリスエットスタジアムで行われた、第38回中国四国学生陸上競技選手権大会にて、陸上競技クラブの村尾茉優選手（生活2年）が、女子ハンマー投と女子砲丸投に出場し、両種目とも優勝しました。村尾選手はその他の大会でも好成績を収めており、今後の更なる活躍が期待されます。



第66回四国地区大学総合体育大会 ー 参加競技で各クラブ健闘 ー

平成27年6月20日~7月5日の期間、愛媛県内各会場で第66回四国地区大学総合体育大会（四国インカレ）が開催されました。本学で6月19日に結団式が行われ、大会には16競技に298名が参加しました。

団体戦では男子の部でフットサルクラブがベスト4、女子の部でサッカー、弓道、ソフトボールクラブが日頃の練習の成果を発揮し、準優勝を獲得しました。

また、個人戦でも女子の部で水泳クラブの矢部育実選手（書道1年）、弓道クラブの高橋友紀選手（看護2年）が優勝を果たしました。その結果、男子総合8位（16大学中）、女子総合5位（17大学中）と健闘しました。



インカレ結団式



左から 矢部選手（書道1年）
上原選手（看護3年）



左が高橋選手（看護2年）

第66回四国地区大学総合体育大会成績

（男子・団体）

競技種目	成績
フットサル	ベスト4

（女子・団体）

競技種目	成績
サッカー	準優勝
弓道	準優勝
ソフトボール	準優勝

（女子・個人）

競技種目	成績
水泳	50m平泳ぎ 優勝 矢部 育実(書道1年)
	50m平泳ぎ 準優勝 上原あやめ(看護3年)
	100m平泳ぎ 優勝 矢部 育実(書道1年)
	100m平泳ぎ 第3位 上原あやめ(看護3年)
弓道	優勝 高橋 友紀 (看護2年)

総合成績 **男子総合8位（16大学）**
女子総合5位（17大学）

芸術および専門分野でも活躍

第100回記念展 二科展デザイン部門で奨励賞を受賞

平成27年8月第100回記念展・二科展デザイン部門で宗本真里奈さん（生活4年）が奨励賞を受賞しました。学生での受賞は今回が初めてです。宗本さんは、1、2、3年と連続で入選し、4年で奨励賞を受賞しました。

デザイン部門は、プロ・アマ同時審査でデザイナーの登竜門になっています。この受賞により今後の活躍が期待されます。

また、宗本さんの他にも角石理奈さん、久岡容子さん（生活3年）、小川菜々さん（生活2年）、田中見那美さん（生活1年）が入選を獲得しました。

作品展は、平成27年9月2日～14日まで、六本木・国立新美術館で開催されました。



宗本さんの作品



久岡さんの作品



角石さんの作品



小川さんの作品



田中さんの作品

第70回徳島県美術展 書道部門で特選・デザイン部門で四国放送社長賞を受賞

第70回徳島県美術展（県民文化祭開催委員会、県美術家協会、徳島新聞社主催）の書道部門で、後藤知美さん（書道1年）の「杜甫詩」が特選に輝きました。

また、デザイン部門で、山本真子さん（児童2年）が四国放送社長賞を受賞しました。



山本さんの作品



後藤さんの作品

山本さんは、今年5月の放美展（奨励賞）、8月の二科展（初入選）に続き3回目の受賞となり、今後の活躍が期待されます。

作品はデザイン部門が10月16日～21日、書道部門が10月23日～28日に、徳島市のあわぎんホールで展示されました。

第2回チャレンジ！糖尿病いきいきレシピ コンテントで優秀賞を受賞

平成27年10月4日に大妻女子大学で開催された第2回 チャレンジ！糖尿病いきいきレシピコンテントの第二次実技審査（最終選考）で、短期大学部の池田 理紗さんと小山 彩さん（食栄2年）のチーム（チーム名：食栄ふあくとりー）が、昼食部門で「とく徳！満福やさしいランチ」を調理し、みごと優秀賞を受賞しました。



このコンテストは、若い世代に糖尿病への関心を高めてもらうため、日本在住で栄養士・管理栄養士を目指し学業に励んでいる全国の学生（専門学校・短大・大学）を対象に全国からレシピを募集し、一次書類（レシピ）審査で、223チーム（参加校74校）の中から12チーム（参加校11校）が選ばれ、第二次実技審査（最終選考）に進んだチームがレシピを再現調理、審査員による試食審査が行われました。

こまった訓・応神地区避難シミュレーション in 四国大学

平成27年9月5日・6日に、四国大学中央棟（津波避難ビル指定）にて、「こまった訓・応神地区住民避難シミュレーション in 四国大学」を学生ボランティア支援室主催で開催しました。

要援護者の人々を想定した支えあいながらの避難訓練で、約80名（学生20名・地域住民50名・関係スタッフ10名）の参加のもと、13:00に南海トラフ巨大地震が発生したと想定して、大学周辺の地域住民が四国大学中央棟（10階建）3階まで、少人数の班に別れて避難しました。

その後は1階ロビーフロアにて学生・スタッフ主導のもと、避難してきた地域住民の方々を含め、ダンボールによる避難所づくりをし、37名（学生20名・住民7名・関係者10名）が救援物資の食料で、一夜を過ごす体験をしました。翌日はミニ防災展を開催し、深く防災意識を高めました。

四国管内の大学では初めての試みで、地域住民と学生が楽しく交流を図りながらの防災訓練と防災学習ができ、地元応神町コミュニティ協議会はじめ、関係自治組織から大変感謝されました。



大学COC事業及びCOC+事業 地域貢献型人材育成をめざして

地方創生の流れを受けて、平成26年度に採択され2年目に入った大学COC事業・SUDAchiプロジェクトでは、連携自治体である徳島県・徳島市・美馬市をフィールドとして多くの活動が行われています。

教育・研究活動では、学生や教職員が参加した地域活動がますます活発になっています。地域志向型研究として、パペットを使った就学前児童向け英語劇、大学での避難所シミュレーション、地域での舞台表現など地域活性化を目指した活動、寺院文化財調査・伝統文化・伝統食・医療・福祉等の分野で、これからの地域を担っていく人材育成を目指した取組等、多様な活動を展開しています。また美馬市と美波町に開設したスーパーサテライトオフィス（SSO）にも多くの相談・要望が寄せられ、各地域と本学の研究・教育活動のマッチングを図っています。

さらに地域貢献活動のひとつとして、SUDAchi(すだち)講座を開講しています。これはサテライト双方向遠隔講義システムを用いた生涯学習プログラムで、主に四国大学又は四国大学交流プラザで行われる講義を、インターネットを利用してSSOに配信し、大学教員の講義を近くで受講していただくものです。開講科目や内容については要望をお受けし地域のみなさんと相談しながら作り上げていくプログラムです。お気軽にご参加いただければ幸いです。

地域学関連科目の全学的な整備、「新あわ学」の構築、あわ検定の準備など、教育研究面での取組みも進めています。さらに平成27年度に新たに採択された「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)(徳島大学が申請大学)」において、本学は創業支援プログラムを通じた地域貢献型人材の育成にも努めたいと考えております。今後ともこのSUDAchi推進プロジェクトの展開に注目とご支援いただけますようよろしくお願いいたします。



地域志向型教育研究の様子



SUDAchi(すだち)講座概略

第13回四国大学青春川柳コンクール

平成27年11月14日に2015年度四国大学青春川柳コンクールの表彰式及び入選作品の展覧会が行われました。応募句総数2,593人、応募句総数7,748句の中から、審査の結果、特別賞10句、入選40句、佳作100句の作品が選ばれました。表彰式では、特別賞と入選の50名が表彰され、受賞者はそれぞれの川柳に込めた意味や思いを語っていました。なお、展覧会は11月末まで四国大学書道文化館1階ギャラリーで開催されました。次年度もたくさんのご応募をお待ちしております。



【特別賞】(10句)

2015・四国大学青春川柳大賞

ケンカして会話ないのにある弁当
学長賞

藤田理恵(愛媛県/新居浜南高校)

一歩ずつあゆんだその先と金なり
理事長賞

後藤田龍馬(徳島県/板野高校)

ご飯いる家にいるのにライン来る
副学長賞

儀宝嶺(徳島県/小松島高校)

あの頃をやり直したいけど今も好き
文学部長賞

山内真凛(愛媛県/伊予農業高校)

単語帳トイレに貼って母覚え
好きなこと話すと消える句読点
学生支援担当部長賞

喜来たまき(徳島県/徳島北高校)
さごじょう(愛媛県)

履歴書で最後に残る「特技など」
じゅるい道しわしわ行きよ就活生
図書館長賞

表木直斗(徳島県/阿南高専)
岩木太郎(徳島県/四国大学職員)

図書館の本にさそわれ一人旅
ポニーテール私がしたら馬のしっぽ

山田彩乃(高知県/岡豊高校)
木村美佑(徳島県/城東高校)

3番目は、就職活動の開始までに「就職に関する準備をしておく」ことです。就活が開始されると同時に自信を持って就活を進めることが必要になります。希望する会社の選定のために、業種や職種を知り、企業研究をします。第1希望の1社だけを受験するのではなく、県内外の20社程度にエントリーを準備すると良いでしょう。職場を幅広く考えることができます。エントリーシートや履歴書作成には、自己PRや長所・短所をみつめる自己分析、なぜその会社に就職したいのかとか入社して何をやりたいのか等を問う志望理由が必要とされます。キャリアセンターでは皆さんが自信を持って就職試験に臨めるよう、就職や専門職、エントリーシート、面接などのガイダンス、履歴書、業種・職種などの各種セミナーやインターンシップやトライツアー等を実施しています。

4番目は、「健康で規則正しく生活を送っていきける力」を身に付けることです。就活は授業と並行して実施されていきます。土・日や春・夏休み期間中も関係なく就職試験は実施されます。受験計画に基づいたスケジュールを立て、会社の選定、エントリーシートの作成と提出、履歴書の作成、会社説明会への参加、一般常識やSPIテスト等の採用試験、集団面接やグループディスカッション、個別面接等の試験を乗り切る必要があります。このような流れを受験ごとにくぐり抜けるスケジュールを管理して計画的に実施していきます。

5番目は、「情報の獲得」です。就職情報は定期的にHPで確認する必要があります。どんな会社がどのような人を求めているのかという求人情報、会社の理念や主な営業活動など知っておくと良い情報は、会社説明会や企業セミナーなどでも得ることができます。積極的に参加してみましょう。また新聞やテレビのニュースを毎日確認して国内外の政治や経済などの動きも知っておいてください。最近話題になっている情報を知っておくと、面接時に客観的で正確な応答をすることができ、一般常識テストにも役立ちます。

なお、就職先として安定して人気のある教員や公務員、看護師の試験は前年通りの実施かHPで確認が必要です。大学の教員・公務員講座を活用して計画的に学習してください。

どのような状況になろうと、新卒学生は有利に正規就職できるチャンスです。四国大学から徳島を始め京阪神、関東、そして全国各地や世界にと、大空に大きく羽ばたいて行けるように、全力で学生を支援していきます。キャリアセンターをしっかりと活用してください。



就職ガイダンス



マナー講座

過去2年間の就職実績

平成27年5月1日現在

		平成25年度	平成26年度
大 学	文 学 部	92.9%	93.8%
	経営情報学部	92.0%	94.7%
	生活科学部	97.0%	98.5%
	看護学部	100%	100%
	計	95.8%	97.3%
短期大学部		95.2%	97.6%
全 体 計		95.7%	97.4%
求 人 件 数		1726 件	1933 件

		平成25年度	平成26年度
公 立 学 校 教 員 合 格		44名	69名
内 訳	現 役	14名	31名
	卒 業 生	30名	38名
公 務 員 合 格		50名	60名
国公立病院看護師助産師保健師合格（徳大病院等の独立行政法人等は除く）		33名	36名

◆四国大学後援会総会開催◆

平成27年11月13日、平成27年度後援会総会が、会長をはじめ役員・会員18名、大学側から佐藤理事長他関係者14名の出席のもと開催されました。議事では、平成27年度決算報告、平成28年度予算案などが審議され、原案どおり承認されました。次に、大学の現状報告として武知事務局長から「四国大学の今」と題して、奨学金などの学生サポート制度の取り組みや学生の活躍について報告がありました。会員からは後援会に寄せる活発なご意見を頂き盛会裡に終了しました。



四国大学

3.19 [SAT] 11:00~16:00
※10:00から受付スタート

文学部
経営情報学部
生活科学部
看護学部
短期大学部

※ランチ休憩 12:10~13:35

※送迎バス運行

※在学生とのフリートーク など

平成28年度 オープンキャンパス日程

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
6/19(日)	7/18(月-祝)	8/7(日)	8/21(日)	9/19(月-祝)

※送迎バスを利用される方はご注意ください。

コース名 ()

※なお、大規模修学旅行(四国大学学生交流プログラム)からのグループバスは、申込みが必要です。送迎時刻:10:20発、10:30発

希望学科に ☑ を入れてください。

四国大学

文 学 部 ☐ 日本文学科 ☐ 看護文化学科
☐ 国際文化学科

経営情報学部 ☐ 経営情報学科 ☐ メディア情報学科
生活科学部 ☐ 生活科学学科 ☐ 児童学科
☐ 管理栄養士養成課程

看護学部 ☐ 看護学科

四国大学短期大学部

☐ ビジネス・コミュニケーション科
人間関係科 ☐ 食物栄養専攻 ☐ 介護福祉専攻 ☐ 幼児教育保育科 ☐ 音楽科